

~3・4・5歳児向け~



山陽小野田市立図書館

## はじめに

山陽小野田市では、平成 15 年度から、全国に先駆けた取組として、「マタニティ・ブックスタート」を実施しています。この事業をサポートとするものとして、毎週、乳幼児向けのおはなし会などを開催し、また、平成 25 年 3 月、乳幼児向けのおすすめ絵本のブックリスト「絵本だ〜いすき!ブックリスト〜乳幼児(〇・1・2歳)向け〜」を発行しました。

乳幼児から幼児へと成長するにつれ、子どもたちは、さまざまなタイプの絵本を楽しむことができるようになります。まさに、絵本の世界を存分に楽しめる黄金期です。各出版社も、この年齢層を対象として、毎年、たくさん絵本を出版しています。書店に行っても、図書館に行っても、どれを選んでいいか、どれが子どもの心の成長の支えとなるのか、迷われることも多いのではないでしょうか。

このため、3歳から5歳の子どもたちが出会ってほしい絵本のブックリスト「絵本だ~いすき!ブックリスト~3・4・5歳児向け~」を発行しました。

このブックリストには、「かぞくってすてき」「ゆかいなおはなし」などそれぞれジャンルに分けて、厳選された139冊の絵本が紹介されています。

ご家庭や保育園・幼稚園などで、子どもに読んでやりたいけど、どんな絵本がいいのか分からない、などといった時に、このブックリストが活用され、子どもと絵本の豊かな出会いとなり、笑顔が生まれ、子どもの成長の一助となることを願っています。

令和2年3月

山陽小野田市立図書館

### 目次

| はじめに              | 1  |
|-------------------|----|
| かぞくってすてき          | 3  |
| ともだち              | 4  |
| きせつのおはなし          | 5  |
| 空をみあげて            | 6  |
| しぜんのふしぎ           | 7  |
| からだのふしぎ/いのち       | 8  |
| どうぶつのおはなし         | 9  |
| のりもののおはなし         | 10 |
| たべもの              | 11 |
| おいわい              | 12 |
| ゆかいなおはなし          | 13 |
| やさしいきもち/なんだか、ヘン!  | 15 |
| ちょっとこわいよ          | 16 |
| おでかけ・ぼうけん         | 17 |
| ふしぎ・ファンタジー        | 19 |
| らくごのえほん/ことばあそび    | 21 |
| 詩のえほん/ようちえん・ほいくえん | 22 |
| うたのえほん            | 23 |
| みつけられるかな/いっしょにあそぼ | 24 |
| 日本のむかしばなし         | 25 |
| 世界のむかしばなし         | 26 |
| しかけえほん            | 27 |
| もっとえほんがよみたいな!     | 28 |
| 図書館の行事            | 29 |
| 図書館ご利用の手引き        | 30 |

## かぞくってすてき



「あおくんときいろちゃん」レオ・レオーニ/作 藤田圭雄/訳 至光社 1967 年

仲良しのあおくんときいろちゃんが遊んでいると、色が重なって緑色になってしまいました。お家に帰っても「うちの子じゃない」と言われ・・・。



「ぎゅっ」ジェズ・オールバラ/作 徳間書店 2000年

子ザルのジョジョは、動物たちが「ぎゅっ」とハグしている のを見て、ママにハグされたくなってきます・・・。



「だめよ、デイビッド!」デイビッド・シャノン/作 小川仁央/訳 評論社 2001 年

どろんこで家に入るし、お風呂やお家の中でも大暴れで、もう、 めちゃくちゃ。デイビッドはママにいつもしかられてばかり。 でも、ママの本当の気持ちはね・・・。



「**ピッツァぼうや**」ウィリアム・スタイグ/作 木坂涼/訳 らんか社 2000 年

雨の日、外で遊びたいピートはご機嫌ななめ。そしたら、 おとうさんが「ピートでピッツァを作ったら楽しくなるぞ」 だって!



「すきですゴリラ」アンソニー・ブラウン/作 山下明生/訳 あかね書房 2019 年

お父さんと暮らすハナは、ゴリラが大好き。でも、一度も ゴリラを見たことがありません。本物のゴリラに会いたい のに、お父さんは忙しくて・・・。

# ともだち



### 「かんけり」石川えりこ/作 アリス館 2018年

いつも手助けしてくれるりえちゃんが、かんけりで鬼につかまってしまいました。引っ込み思案のちえちゃんは思います。今度は、わたしがりえちゃんを助けにいかなくちゃ!



### 「ともだちや」内田麟太郎/作 降矢なな/絵 偕成社 1998 年

「ともだち 1 じかん 100えん・・・」 きつねは、「とも だちや」をはじめますが、おおかみと出会い、次第に気持ちが 変化していきます。「ともだちやシリーズ」第1作。



### 「とん ことり」筒井頼子/作 林明子/絵 福音館書店 1998 年

ひっこしてきたばかりのかなえの家のポストに、「とん ことり」と不思議なプレゼントが届きます。だれからなの? 知らない町で、はじめてともだちができる喜びが伝わってきます。



### 「ラチとらいおん」マレーク・ベロニカ/作 徳永康元/訳 福音館書店 1965 年

弱虫なラチのもとにライオンがやってきました。いつも側にいてはげましてくれるのですが、ふと気がつくと・・・。



### カたしと あそんで 」 マリー・ホール・エッツ/作 与田準一/訳 福音館書店 1968 年

女の子がバッタによびかけます。「ばったさん、あそびましょ。」でも、バッタは逃げてしまいました。カエルもヘビもみんな。 そこで、女の子がじっとしていると・・・?

## きせつのおはなし



「なつのいちにち」はたこうしろう/作 偕成社 2004年

わきあがる入道雲。ふりそそぐセミの声。その中を、1人の少年が網を手に、クワガタのいる山をめざして走ります。 真夏の1日の物語。



「はなをくんくん」ルース・クラウス/作 マーク・シーモント/絵 木島始/訳 福音館書店 1967 年

雪深い森の中で動物たちは冬眠中。ところが、野ねずみが、 くまが目を覚まし、鼻をくんくんさせて走り始めました。 動物たちが見つけたものは・・・。



「ばばばあちゃんのやきいもたいかい」さとうわきこ/作 福音館書店 2000 年

落ち葉をかき集めて、子どもたちとやきいも大会。でも、焼くのは、サツマイモだけではなく、バナナやマシュマロなどアイデアがいっぱい! 「ばばばあちゃんシリーズ」の絵本。



「まどからおくりもの」五味太郎/作 偕成社 1983年

サンタさんがプレゼントをくばります。でも、穴あきの窓から見える動物たちをかんちがいして、まちがったプレゼントばかり・・・。 しかけが楽しいクリスマス絵本。



雪の日は、子どもはだれもがワクワク気分。ピーターも外へ 飛び出します。ピーターの気持ちが、よく伝わってきます。

## 空をみあげて



「お月さまってどんなあじ?」ミヒャエル・グレイニェク/作 いずみちほこ/訳 らんか社 1995 年

> お月さまってどんな味がするのかな? カメ、ゾウ、キリンなどいろいろな動物たちが力をあわせてお月さまを目指します。 パリッとかじったそのお味は・・・?



「おやすみなさいおつきさま」マーガレット・W・ブラウン/作 クレメント・ハード/絵 瀬田貞二/訳 評論社 1979 年

「おやすみ とけいさん」「おやすみ くつした」・・・。 こうさぎが、部屋の中や窓の外に見えるものすべてに向かって 呼びかけます。おやすみ前の絵本。



### 「14 ひきのおつきみ」いわむらかずお/作 童心社 1988 年

今夜は十五夜。野ねずみのきょうだいが、お月見台を作ります。 ススキを飾り、おだんごを供えていると、そこに大きなまんまる お月さまが・・・。「14ひきのシリーズ」の1冊。



「つきのぼうや」イブ・スパング・オルセン/作 山内清子/訳 福音館書店 1975 年

お月さまが池に映ったお月さまを見て、月のぼうやに連れて帰ってくるように言います。そこで、ぼうやは、だんだん地上へ・・・。 縦長の特長を活かした楽しい絵本。



「パパ、お月さまとって!」エリック・カール/作 もりひさし/訳 偕成社 1986 年

「お月さまとって」と願う娘モニカのために、パパは、ながいながーいはしごをたかいたかーい山のてっぺんに立てて・・・。 絵本のサイズを超えて広がる楽しいしかけ絵本。

# しぜんのふしぎ



「雨、あめ」ピーター・スピアー/作 評論社 1984年

おねえちゃんとおとうとはレインコートを着て、雨の中に飛び出します。水たまりや雨水の流れなど、雨の日ならではの楽しさが、文字なしの絵本から伝わってきます。



「木のうた」イエラ・マリ/作 ほるぷ出版 1977 年

季節の中で変化する木の姿が美しく、また、生き物たちの春夏秋冬も描かれていて、生命への賛歌が聞こえてくるようです。



『こっぷ』谷川俊太郎/作 今村昌昭/写真 福音館書店 1976 年

コップは、水や煙もつかまえることができるし、歌も歌えるよ。見方を変えると、いろんなことがわかってきます。写真絵本。



「じめんのうえとじめんのした」アーマー・E・ウェバー/作 藤枝澪子/訳 福音館書店 1968 年

目に見える世界はいつも地面の上、地面の下は目に見えない世界です。生き物たちは地面の上と下でどう暮らしているのか、この絵本はわかりやすく説明してくれます。



「みずとはなんじゃ?」かこさとし/作 鈴木まもる/絵 小峰書店 2018 年

水は、気体にも固体にもなる不思議な物質です。たった一杯のコップの水から、地球環境のことまで思いが広がり、子どもたちへの熱いメッセージが伝わってくる科学絵本。



「よもぎだんご」さとうわきこ/作 福音館書店 1989 年

春の野山には、よもぎ、つくしなど野草がいっぱい。ばばばあちゃんは、「よもぎだんご」を作るため、子どもたちを連れて春の野原へ・・・。「ばばばあちゃんシリーズ」の1冊。

## からだのふしぎ



### 「ちのはなし」堀内誠一/作 福音館書店 1978 年

ケガをすると血が出るのはなぜ? 血の働きや生命の大切 × さをわかりやすく伝える科学絵本。

 $\times$ 



### 「はははのはなし」加古里子/作 福音館書店 1972 年

虫歯になって歯医者に行くのは、だれでも嫌なこと。虫歯 × にならないためにはどうしたらいいのか。歯の働きや大切 × さをわかりやすく教えてくれます。





### 「おじいちゃんのごくらくごくらく」西本鶏介/作 長谷川義史/絵 鈴木出版 2006 年

だいすきなおじいちゃんがお風呂に入るときの口ぐせは「ごくらく、ごくらく」。そのおじいちゃんとのお別れ・・・。家族の温かさがじんわり伝わってきます。



### 「ずーっとずっとだいすきだよ」ハンス・ウィルヘルム/作 久山太市/訳 評論社 1988 年

ある朝、目を覚ますと大好きなイヌのエルフィーが死んでいました・・・。主人公の男の子のように、日ごろから「大好き」という思いを声に出して伝えたいですね。



### 「わすれられないおくりもの」スーザン・バーレイ/作 小川仁央/訳 評論社 1986 年

みんなからとてもたよりにされていたアナグマが死んで、森の動物たちは悲しみにくれます。それぞれの心には、アナグマとの思い出がよみがえり・・・。

## どうぶつのおはなし



「アンガスとあひる」マージョリー・フラック/作

瀬田貞二/訳 福音館書店 1974 年

子犬のアンガスは、庭の垣根の向こうから聞こえるアヒルの鳴き声が気になって・・・。シリーズに『アンガスとねこ』『まいごのアンガス』があります。



「かばくん」岸田衿子/作 中谷千代子/絵 福音館書店 1966 年

かめくんを連れた男の子が見ているのはかばの親子。動物園でのかばのゆったりとした1日を描いた絵本。シリーズに『かばくんのふね』もあります。



### 「しっぽのはたらき」川田健/作 薮内正幸/絵

福音館書店 1972 年

動物のしっぽは何のためにあるのかな? クモザルのしっぽは?牛のしっぽは? 動物によって異なるしっぽの働きを楽しく学べる科学絵本。



### 「じんべえざめ」新宮晋/作 文化出版局 2013 年

地球上で一番大きな魚・じんべえざめ。近くで潜水している人の姿も描かれているので、その大きさが実感できます。 巨大なじんべえざめを想像するだけでも楽しいですね。



「どろんここぶた」アーノルド・ローベル/作 文化出版局 1987 年

こぶたが一番好きなのは、どろんこ。ところが、飼い主のおばさんが家中大そうじ。こぶたは、大好きなどろんこを求めて家出をします。おばさん夫婦は大慌て・・・。



「ねずみくんのチョッキ」なかえよしを/作 上野紀子/絵 ポプラ社 1974 年

おかあさんが編んでくれたチョッキを着たねずみくんのところに、「ちょっと着せてよ」と動物たちがやってきます。「ねずみくんの絵本シリーズ」第1作。

## のりもののおはなし

5.07 5.07

小さな機関車「ちゅうちゅう」は、逃げだして大騒動を起こします。 絵に勢いがあり、機関車「ちゅうちゅう」の気持ちがよく伝わって きます。



「しょうぼうじどうしゃじぷた」渡辺茂男/作 山本忠敬/絵 福音館書店 1966 年

ちっちゃな消防自動車「じぶた」。いつも活躍するのは、大き な消防自動車ばかりですが、ある日、山の中で火事が発生し、 「じぶた」が大活躍します。



「でんしゃにのって」とよたかずひこ/作 アリス館 1997 年

うららちゃんは、おばあちゃんに会いに1人で電車に乗ります。「つぎは わにだー わにだー」。すると、わにさんが乗り込んできて・・・。「うららちゃんののりものえほんシリーズ」の1冊。



「ぽぽぽぽぽ」 五味太郎/作 偕成社 1988 年

「ぽぽぽぽぽ」と汽車が走ります。坂にさしかかると、「ぽぽぽぽぽととととと」、高い橋の上では「ぞぞぞぞぞ」・・・。 単純な絵の展開と擬音の音の変化が楽しい絵本。



「やこうれっしゃ」西村繁男/作 福音館書店 1983 年

上野発の寝台列車が、雪深い金沢をめざして走ります。列車 に乗り込む人々や車内の様子、乗客の気持ちが絵を見るだけ で伝わってきます。文字なし絵本。



# おまたセクッキー Profits - Nation

### 

クッキーを兄妹で分けて食べようとすると、友だちがやってきて、食べる枚数が減っていきます。とうとう、1枚ずつになったとき、玄関のベルがなって・・・。



### 「からすのパンやさん」かこさとし/作 偕成社 1973 年

からすのパン屋さんは4羽の赤ちゃんが生まれて大忙し。 散らかってばかりで、だんだんさびれてきたお店を救った のは・・・。『からすのやおやさん』など続編もあり。



### 「きょうのごはん」加藤休ミ/作 偕成社 2012 年

表紙には、大きなサンマの焼き物とご飯。ページを開くと、 あったかくて美味しそうなごはんのにおいがしてきそうで す。商店街の様子も見えてきて楽しい絵本。



### 「ぐりとぐら」中川李枝子/作 大村百合子/絵

福音館書店 1967 年

お料理することが大好きなぐりとぐらは、森の中で大きな卵を見つけました。その卵を使って、大きな大きなカステラを作るのですが、美味しそうなことといったら!



### 「サンドイッチサンドイッチ」小西英子/作 福音館書店 2008 年

サンドイッチをつくろう! 最初に、パンにバターを塗ったら、次はどうする? 新鮮なレタスやトマトなどが目に飛び込んできます。 実際につくってみたくなってきますよ。



### 「なにをたべてきたの?」岸田衿子/作 長野博一/絵

佼成出版社 1978 年

おなかがすいているしろぶたくん。リンゴを食べると、おなかの中が赤くなり、レモンを食べると黄色に。さいごに、石けんを食べたしろぶたくんは・・・。幼い子どもの想像をかきたてる絵本。



### 「きらいきらい!」武田美穂/作 童心社 2019 年

ニンジン、嫌い。お魚、嫌い・・・。子どものときは、だれでも嫌いな食べ物があったりしますが、そこにはりっぱな理由があるのです・・・。



## おいわい



### 「きょうはなんのひ?」瀬田貞二/作 林明子/絵

福音館書店 1979 年

まみこはおかあさんに「きょうはなんのひだか しってるの?」「しらなきゃ かいだん三だんめ」というなぞの言葉を残して出かけていきました。おかあさんが階段に行くと・・。



「ちびゴリラのちびちび」ルース・ボーンスタイン/作いわたみみ/訳 ほるぷ出版 1978 年

動物たちは、みんな、ちびゴリラのちびちびが大好きです。 みんなから愛され、見守られ、大きくなるちびちびの幸せそう なこと!



### 「はけたよはけたよ」神沢利子/作 西巻茅子/絵

偕成社 1970 年

たっくんはパンツを一人ではけません。おしりを出したまま外に飛び出したら、動物たちからシッポがないと笑われて・・・。

## ゆかいなおはなし



### 「いいからいいから」長谷川義史/作 絵本館 2006 年

「いいから、いいから」が口ぐせのおじいちゃん。カミナリの親子がふいに目の前にあらわれても、「いいから、いいから、ゆっくりしていってください」・・・。 「いいからいいからシリーズ」第1作。



### 「いっぽんばしわたる」五味太郎/作 絵本館 1979 年

ー本橋を、いろいろな動物がわたります。うさぎは「ぴょん ぴょんわたる」、へびは「からんでわたる」・・・。最後の オチには、思わず笑ってしまいます。



# 「コッケモーモー!」ジュリエット・ダラス=コンテ/作 アリソン・バーレット/絵 たなかあきこ/訳 徳間書店 2001 年 おんどりは自分の鳴き方を忘れてしまいました。 「コッケモーモー?」「コッケブーブー?」 ある晩、キツネが小屋にしのびこんできて・・・。



### 「**11ぴきのねこ」**馬場のぼる/作 こぐま社 1967 年

とらねこ大将と10ぴきののらねこが、力を合わせて「怪物みたいな大きな魚」をしとめます。最後にはあっと驚く展開が待っていますよ。「11ぴきのねこシリーズ」第1作。



### 「せかいかえるかいぎ」近藤薫美子/作 ポプラ社 2018 年



かえるたちの間に「せかいかえるかいぎがあるらしい」という うわさが広がりました。世界のかえる会議? 世界を変える会 議? わからないけど、とにかく会議へ・・・。

### そらはだがぼ!

### 「そらはだかんぼ! | 五味太郎/作 偕成社 1979 年



「ライオンくん、おふろですよ。はだかんぼになりなさい。」 えーっ、ライオンがはだかんぼになるなんてヘン! と思って いたら・・・。意外な展開に子どもたちも大喜びです。

### どろぼうがっこう 「どろぼうがっこう」かこさとし/作 偕成社 1973 年



「どろぼう学校」の校長先生が、宿題を出しました。 「明日までに何かどろぼうをやってこい。」生徒たちが盗んだ 物とは?シリーズに「ぜんいんだつごく」などがあります。

### はちばちいこか

「ぼちぼちいこか」マイク・セイラー/作 ロバート・グロスマン/絵 いまえよしとも/訳 偕成社 1980年



でっかいカバくんが、船乗りなどになりたくて挑戦してみます が、何をやってもうまくいきません。ユーモラスな絵と関西弁 による翻訳が魅力の絵本。



### 「もっちゃうもっちゃうもうもっちゃう」土屋富士夫/作 徳間書店 2000 年

おしっこが我慢できなくなったひでくんは、デパートでトイレを さがしますが、あいにく工事中。案内されるのは、ヘンなトイレ ばかりで・・・。ハラハラドキドキの絵本。



### 「**ルラルさんのにわ」**いとうひろし/作 ポプラ社 2001 年

ルラルさんは芝生の庭がご自慢で、毎日の手入れを欠かしませ ん。ある日、庭にワニが気持ちよさそうに寝転がっていてビッ クリ!! 「ルラルさんシリーズ」第1作。



### 「わにさんどきっはいしゃさんどきっ」五味太郎/作

偕成社 1984 年

虫歯になったワニさんは、仕方なく歯医者さんに出かけます。 遊んでいた歯医者さんは、仕方なく治療をはじめること に・・・。同じセリフのやりとりが楽しい絵本。

### やさしいきもち



### 「どうぞのいす」香山美子/作 柿本幸造/絵

ひさかたチャイルド 1981 年

うさぎさんが小さなイスを作り、「どうぞのいす」という札を 立てました。そこにロバさんがやってきて・・・。 「だれかのために」という思いやりの心が伝わる絵本。



### 「ノンタンぶらんこのせて」キョノサチコ/作 偕成社 1976 年

ノンタンはブランコを独り占め。おともだちが「代わって」と言っても、なかなか譲ろうとしません・・・。 順番は守らないとね。

## なんだか、ヘン!



### 「キャベツくん」長新太/作 文研出版 1980 年

キャベツくんに出会ったブタヤマさんが、「キャベツ、おまえをたべる!」と言うと、「ぼくをたべるとキャベツになるよ!」 だって。じゃあ、ライオンは? クジラは?



### 「きょだいなきょだいな」長谷川摂子/作 降矢なな/絵 福音館書店 1994 年

「あったとさ あったとさ 巨大なピアノがあったと さ・・・。」繰り返される言葉の心地よさと、どこまでも広がる空想の世界が楽しい絵本。



### 「チューチューこいぬ」 長新太/作 BL出版 1992 年

子犬たちがおっぱいを飲みます。「チューチューとり おっぱいはでません」「チューチューさかな おっぱいはでません」。リズミカルな言葉と絵の繰り返しが楽しい絵本。



### 「ぶたのたね」 佐々木マキ/作 絵本館 1989 年

ぶたよりも足がおそいおおかみは、きつねはかせから「ぶたのたね」をもらって育てます。すると、ぶたがたくさん木に実って・・・。「ぶたのたねシリーズ」第1作。

## ちょっとこわいよ

# Track Wita-

### 「がたごとがたごと」内田麟太郎/作 西村繁男/絵

童心社 1999 年

大勢のお客さんが電車に乗り込みます。電車は「がたごとが たごと」郊外へ。「おくやま駅」で、ぞろぞろお客さんが降 りていきましたが・・・? いろんな発見がある絵本。



### 「すてきな三にんぐみ」トミー・アンゲラー/作

いまえよしとも/訳 偕成社 1969 年

黒いマントに黒い帽子の3人組。武器を使って、宝物を奪います。ある日、3人組のお城に連れてこられたティファニーちゃんは、宝の山を見て・・・。



### 「ゼラルダと人喰い鬼」トミー・アンゲラー/作

たむらりゅういち・あそうくみ/訳 評論社 1977年

ゼラルダは料理が大好きな女の子。足をすべらせて崖から転落 し気絶していたのが、人食い鬼だとは知らずに助け、得意の料 理をふるまいます。



### 「どこいったん」 ジョン・クラッセン/作

長谷川義史/訳 クレヨンハウス 2011 年

「ぼくのぼうし どこいったん?」クマが動物たちにたずねます。ところが、だれも知りません・・・。大阪弁の特長がいかされた、とぼけた味わいのある絵本。



### 「にゅーっするするする」長新太/作 福音館書店 1989 年

地面から手が「にゅーっ」と伸びて、自動車や飛行機などあらゆるものを大地に引きずり込んでいきます。ついには、おかあさんまで・・・。

## おでかけ・ぼうけん



### 「おしいれのぼうけん」古田足日/作 田畑精一/絵

童心計 1974 年

さくら保育園のこわいもの。それは、おしいれとねずみばあさ ん。おひるねの時間に、さとしとあきらはケンカして、おしい れに閉じ込められてしまいました。そこから、二人の冒険がは じまります。



かいじゅうたちのいるところ「かいじゅうたちのいるところ」モーリス・センダック/作 神宮輝夫/訳 冨山房 1975 年

> お母さんにしかられ、夕飯抜きで寝室に放り込まれたマック スは、かいじゅうたちのいる島へ。思いっきり遊び、疲れて おうちに帰ったマックスを待っていたものは・・・。





「きつねとねずみ」ビアンキ/作 内田莉莎子/訳 山田三郎/絵 福音館書店 1967 年

ねずみを食べようとするきつねと、逃げるねずみのやりとりが コーモラスで楽しい絵本。ねずみが暮らす地下の断面は、発見 がいっぱい!



「きょうはみんなでクマがりだ」マイケル・ローゼン/再話 ヘレン・オクセンバリー/絵 山口文生/訳 評論社 1990年

5人の家族でクマがりに出かけます。「こわくなんかあるもん」 か!」でも、本物のクマがあらわれると・・・? 子どもたち の遊び歌が元になってできた絵本。



### 「こんとあき」林明子/作 福音館書店 1989 年

こんはきつねのぬいぐるみ。なかよしのあきと一緒に、おばあ ちゃんに会いに列車に乗って旅に出ます。途中、しっぽをドア にはさまれたり、砂丘で迷子になったり・・・。



### 「ぞうくんのさんぽ」なかのひろたか/作 福音館書店 1977 年

さんぽに出かけたぞうくんは、かばくんを誘いますが、「せなかに のせてくれるなら いってもいいよ」だって・・・。 「ぞうくんのさんぽシリーズ」第1作。



### 

小さなかばのヒッポが、一人前になれるようにという、お母さんかばの深い愛情が、美しい版画の絵から伝わってきます。



### 「月夜のみみずく」ジェイン・ヨーレン/詩 ショーエンヘール/絵 くどうなおこ/訳 偕成社 1989 年

月の光に照らされた雪の中を、女の子とお父さんがミミズク探 しに出かけます。「ほうーほう、ほ・ほ・ほ ほーう」とお父 さんが呼びかけると・・・。美しい詩の絵本。



### 「とべバッタ」田島征三/作 偕成社 1988 年

野原にはおそろしい天敵がいっぱい。びくびくしながら 生きていたバッタが、勇気を出して、必死に前に向かっ て飛んでいきます。たどりついたところは・・・。



## 「どろんこハリー」ジーン・ジオン/作 渡辺茂男/訳 マーガレット・ブロイ・グレアム/絵 福音館書店 1964 年

ハリーは黒いぶちのある白い犬。大嫌いなお風呂から逃げたハリーは、どろんこになってしまい、家族に自分だとわかってもらえません・・・。「どろんこハリーシリーズ」第1作。



### 

ロージーがおさんぽに出かけます。後ろから、ロージーをねらうキツネですが、逆にさんざんな目にあってしまい・・・。 続編に『ロージーのひよこはどこ?』があります。

## ふしぎ・ファンタジー



「おちゃのじかんにきたとら」ジュディス・カー/作 晴海耕平/訳 章話館出版 1994 年

ソフィとお母さんがお茶の時間にしようとしていたら、突然、トラがやってきて、「ご一緒させていただけませんか?」トラは、おうちにあるものを全部たいらげてしまって・・・。



「おばけのてんぷら」せなけいこ/作 ポプラ社 1976 年

くいしんぼうのうさこが天ぷらを揚げていると、おいしそうなにおいに誘われたおばけが、こっそりと入ってきて、うっかり、 天ぷらの衣の中に・・・。「めがねうさぎシリーズ」の絵本。



「おふろだいすき」松岡享子/作 林明子/絵 福音館書店 1982 年

まこちゃんが一人でお風呂に入り、体を洗っていると、お風呂の底から大きなカメが現れ、ペンギン、アシカ、カバ、クジラまで! 空想の世界が広がり、お風呂に入るのが楽しみになる絵本。



「きつねのホイティ」ウェッタシンハ・シビル/作 松岡享子/訳 福音館書店 1994 年

ごちそうが食べたくて、サリーを身にまとい、村人に変装したキツネのホイティ。しかし、村の奥さんたちにはバレバレ。スリランカの人たちのおおらかな暮らしが伝わってくる絵本。



「そらまめくんのベッド」なかやみわ/作 福音館書店 1999 年

線のようにやわらかいベッドは、そらまめくんの宝物。その 大事なベッドが、突然なくなってしまいました。そらまめく んは、おおあわて! 「そらまめくんシリーズ」第1作。



#### 「バムとケロのにちようび」島田ゆか/作 文溪堂 1994 年

バムは、しっかりもので几帳面。ケロは遊び好きでいたずら好き。雨の日なので、2人でおかたづけして、おやつのドーナツを作って、本を読もうとしますが・・・。「バムとケロシリーズ」第1作。



「ふしぎなナイフ」中村牧江・林健造/作 福田隆義/絵 福音館書店 1997 年

ー本のナイフが、まがる!? ねじれる!? われる!? ページをめくるたびに、不思議な世界が広がる絵本。



「まあちゃんのながいかみ」高楼方子/作 福音館書店 1995 年

まあちゃんは、自分が髪を長く伸ばしたなら、魚を釣ったり、洗濯物を干したりして・・・と想像の世界を広げていきます。他に『まあちゃんのまほう』などがあります。



「まゆとおに」富安陽子/作 降矢なな/絵 福音館書店 2004 年

鬼は、やまんばの娘まゆを煮て食べてしまおうとします。そうとは知らないまゆは、怪力を発揮して、薪の山を作ったり、かまどの石を運んだり・・・。 他に『まゆとりゅう』『まゆとかっぱ』などがあります。



「めっきらもっきらどおんどん」長谷川摂子/作 降矢なな/絵 福音館書店 1990 年

かんたがでたらめな歌を歌うと、不思議な穴に吸い込まれてしまいます。そこで出会ったのは、「もんもんびゃっこ」 たち3人のゆかいな妖怪でした・・・。



「やまのおふろやさん」とよたかずひこ/作 ひさかたチャイルド 2006 年

山の中のお風呂に、おさるさん一家やイノシシー家が、あたたまりにやって来ます。ゆきだるまさん一家もやって来て・・・!? 「ぽかぽかおふろシリーズ」の絵本。

## らくごのえほん



「じごくのそうべえ」田島征三/作 童心社 2006 年

軽業師の「そうべえ」と、歯ぬき師の「しかい」、山伏の「ふっかい」、医者の「ちくあん」の4人がそろって地獄へ・・・。数々の試練をユーモラスに乗り越えていきます。「じごくのそうべえシリーズ」第1作。



「じゅげむ」川端誠/作 クレヨンハウス 1998 年

「じゅげむじゅげむ、ごこうのすりきれ・・・」長生きで 縁起の良い名前をと、和尚さんが教えてくれたのは、覚え るだけでもたいへんな長い名前で・・・。「川端誠落語絵 本シリーズ」の1冊。

## ことばあそび



「あっちゃんあがつく」さいとうしのぶ/作 リーブル 2001 年

「あっちゃん あがつく あいすくりーむ」。「あっちゃん」から「んっちゃん」まで、名前にちなんだ食べ物が登場します。どのページからも楽しめる、おいしそうでゆかいな絵本。



「こぶたたんぽぽぽけっととんぼ」 馬場のぼる/作 こぐま社 1990 年

しりとりをしながら、おはなしがゆかいに展開していきます。前作『ぶたたぬききつねねこ』に出てきた動物も親子で登場。より言葉もわかりやすくなっており、小さいお子さんにおすすめです。



「これはのみのぴこ」谷川俊太郎/作 和田誠/絵 サンリード 1979 年

「これはのみのぴこ」「これはのみのぴこのすんでいるねこのごえもん」・・・。ページをめくるにつれ、どんどん言葉が増えていく、ことばあそびの絵本。

# 詩のえほん



「おひさん、あめさん」金子みすゞ/作 森川百合香/絵 JULA 出版局 1979 年

山口県出身の童謡詩人・金子みすゞの詩、「はだし」「ほ しとたんぽぽ」など15編が、心あたたまる絵とともに紹 介されています。



「**ぞうさん」**まどみちお/詩 にしまきかやこ/絵 こぐま社 2016年

みんな知ってる童謡「ぞうさん」。山口県出身の詩人まど・ みちおの詩が1冊の絵本になりました。歌いながら、ある いは歌うように、やさしく読んであげたい絵本です。



「ポケットのはらうた」くどうなおこ/詩 ほてはまたかし/絵 童話屋 2016 年

子どもたちに人気の「かまきりりゅうじ」や「たんぽぽはるか」などの詩が26編おさめられています。山口市在住の画家・保手浜孝の版画も、詩の世界をよく伝えています。



「めのまどあけろ」谷川俊太郎/作 長新太/絵 福音館書店 1981年

「めのまど あけろ おひさま まってるぞ」朝起きてから夜眠るまで、一日の出来事を心地よい響きの言葉とリズムでうたいあげる詩の絵本。声に出して読みたい絵本。

## ようちえん・ほいくえん



「おおきくなるっていうことは」中川ひろたか/作 村上康成/絵 童心社 1999 年

大きくなるって、どういうこと? 園長先生は園児に向かって言います。「おおきくなるっていうことは・・・。」成長の喜びが伝わってくる絵本。



「ぐるんぱのようちえん」西内ミナミ/作 堀内誠一/絵 福音館書店 1966 年

ぐるんぱは、ひとりぼっちのぞうです。ビスケット屋さんや靴屋さんなど、どこで働いても失敗ばかり。そんなときに、子どもがたくさんいるおかあさんに出会って・・・。

# うたのえほん



### 「あがりめさがりめ」ましませつこ/絵 こぐま社 1994 年

「げんこつやまのたぬきさん」「ずいずいずっころばし」など、昔なつかしいわらべ歌が楽譜つきで15曲紹介されています。親子で一緒に楽しみたい絵本。「おかあさんと子どものあそびうたシリーズ」の1冊。



### 「あぶくたった」さいとうしのぶ/絵 ひさかたチャイルド 2009 年

「あぶくたった にえたった にえたかどうだか たべてみよ」わらべうたをうたいながら、おしるこができるのをネズミさん一家が待ちます。おなべから、おいしそうなにおいがただよってきそうな絵本。



### 「おべんとうばこのうた」さいとうしのぶ/絵 ひさかたチャイルド 2013 年

「これっくらいの おべんとうばこに・・・」。にんじんさん、 さくらんぼさん、しいたけさん・・・みんなおいしそう、そし て、楽しそう! 手あそびうたと一緒にどうぞ。



### 「げんこつやまのたぬきさん」長野ヒデ子/作 のら書店 2019 年

わらべうたがアレンジされて生まれた絵本。読むのではなく、 子どもと一緒に歌って楽しむ絵本。気持ちもゆかいになって きます。



### 「ねーずみねーずみどーこいきゃ?」こがようこ/作 降矢なな/絵 童心社 2018 年

ちっちゃなねずみが駆けていきます。一体どこへ? 「ちゅっちゅく ちゅ」と飛び込んでいったのは、もちろん・・・。 絵と言葉のリズム・テンポが心地よいわらべうたの絵本。





「新ウォーリーをさがせ!」マーティン・ハンドフォード/作 唐沢則幸/訳 フレーベル館 2000 年

赤白しましまの服を着たウォーリーを、似たような人物がたく さんいる細かい絵の中から探す絵さがし絵本。根気も必要です よ。これまでにたくさんのシリーズが出ています。

「とこちゃんはどこ」 松岡享子/作 加古里子/絵 福音館書店 1970年

元気いっぱいの男の子・とこちゃんは、親が目を離したすきに、すぐどこかに行ってしまいます。デパートや動物園などにいるとこちゃんを見つけることができるかな?

## いっしょにあそぼ



「なにのこどもかな」 やぶうちまさゆき/作 福音館書店 1987.年

動物たちの子どもが登場し、「なにのこどもかな?」とたずねます。ページをめくると、その動物の家族の姿が、ちみつな絵で示されます。全問正解できるかな?

「**まるまるのほん」**エルヴェ・テュレ/作 谷川俊太郎/訳 ポプラ社 2010 年



絵本の中の「まる」をクリックしたり、絵本ごとゆすったり・・・。ページをめくると、あら不思議! 意外な展開にドキドキします。親子で楽しめる新しい感覚の絵本。



「やさいのおなか」 きうちかつ/作 福音館書店 1997年

レンコン、ピーマンなどの野菜の断面が描かれ、「これ なあに?」と問いかけます。親子で楽しみたい絵本。続編『やさいのせなか』はさらに難しくなっています。

## 日本のむかしばなし



「かさじぞう」瀬田貞二/再話 赤羽末吉/絵 福音館書店 1966 年

おじいさんは、お正月の餅を買うため、笠を持って出かけますが、さっぱり売れません。帰る途中、雪の中で寒そうに立っているおじぞうさんに、笠をみんなかぶせてあげます。その夜、「よういさ、よういさ、よういさ、よういさ、よういさ、よういさ、



「かちかちやま」おざわとしお/再話 赤羽末吉/絵 福音館書店 1988 年

「ひとつぶのまめ せんつぶになあれ」とおじいさんが豆を まいていると、タヌキがからかってきます。怒ったおじいさ んは、タヌキをつかまえますが・・・。日本昔話の定番絵本。



「かにむかし」木下順二/作 清水崑/絵 岩波書店 1959 年

「はよう芽をだせ、かきのたね」と、毎日せっせと水やりをして柿の木を育てたカニのところに、サルがやってきて・・・。 おなじみ「さるかに合戦」の物語。



「だいくとおにろく」松居直/作 清水崑/絵 福音館書店

1967 年

流れの速い川に橋を建てることになった大工のところに鬼が現れて、「目玉をよこしたら橋をかけてやる」と話をもちかけます。鬼の名前を当てないと、目玉をとられてしまうことになり・・・。大工と鬼の知恵くらべがはじまります。



「つるにょうぼう」矢川澄子/再話 赤羽末吉/絵 福音館書店 1979 年

けがをしたツルを助けた与平のもとへ、女が訪ねてきます。 女房になった女は、機織りをしている姿を決して覗いてはい けないと言いますが・・・。切なく、美しい絵本。



「ねずみのすもう」大川悦生/作 梅田俊作/絵 ポプラ社 1977 年

じいさまが、山へ木を伐りにいくと、長者さまのところの ねずみと、じいさまのところのねずみが仲良く相撲を取っ ていました。 じいさまは、痩せたねずみを勝たせたくて・・・。

## 世界のむかしばなし



「赤ずきん」グリム/作 バーナディット・ワッツ/絵 生野幸吉/訳 岩波書店 1976 年

赤いずきんをかぶった女の子が、おばあさんの家に向かう途中でおおかみに会います。先回りをして、おばあさんを食べてしまったおおかみは、変装して赤ずきんをまちぶせし・・・。 グリム童話の絵本。



「いそっぷのおはなし」木坂涼/再話 降矢なな/絵 ぐらんまま社 2009 年

「よくばりないぬ」「きこりとおの」「ありときりぎりす」 など有名な9つのイソップ童話が収められています。大胆な 構図と迫力ある絵が魅力の絵本。



「王さまと九人のきょうだい」中国の民話 君島久子/訳 赤羽末吉/絵 岩波書店 1969 年

年よりの夫婦の間にできた9人の子どもは、「ちからもち」「ながすね」など、変わった名前ばかり。その9人の兄弟が、王さまに立ち向かいます。中国の少数民族イ族に伝わる昔話。



「おおかみと七ひきのこやぎ」グリム/作 フェリクス・ホフマン/絵 瀬田貞二/訳 福音館書店 1967 年 おおかみがやってきても、決してドアをあけてはいけませ

おおかみがやってきても、決してドアをあけてはいけませんよ。そう言って、お母さんやぎは、出かけていきました。 その間に、おおかみが・・・。グリム童話の絵本。



「おだんごぱん」ロシア民話 瀬田貞二/訳 脇田和/絵 福音館書店 1966 年

「ぼくは げんきな おだんごぱん」と歌いながら、おばあさんが作ったおだんごぱんが逃げ出しました。いろいろな動物たちに出会い、食べられそうになりますが・・・。



「3 びきのくま」ポール・ガルドン/作 ただひろみ/訳 ほるぷ出版 1975 年

くまが留守にしている間に、女の子が家に入り、おかゆを 食べたり、イスを壊したり・・・。それを見つけた3びき のくまの言葉の繰り返しやユーモラスな絵が楽しい絵本。



「三びきのこぶた」イギリスの昔話 瀬田貞二/訳 山田三郎/絵 福音館書店 1967 年

三びきの子ぶたが、家を作ります。一つはワラの家、もう一つは木の家。そこに、オオカミがやってきて、家を吹き飛ばし、子ぶたを食べてしまいます。レンガで家を作った子ぶたは・・・。



「**てぶくろ**」ウクライナ民話 エウゲーニー・M・ラチョフ/絵 内田莉莎子/訳 福音館書店 1965 年

雪の中、おじいさんが落としていった片方の手袋の中に、「ここで暮らすことにするわ」とねずみが入ります。続いて、かえる、うさぎ、きつね・・・と、手袋の中はもう満員!

## しかけえほん



「きいろいのはちょうちょ」五味太郎/作 偕成社 1989 年

黄色いのはちょうちょ、そう思って虫捕り網を持った男の子が追いかけますが、「あれ、ちょうちょじゃない」・・・。 思い込みが見事に外される、穴あきしかけ絵本。



「きょうのおやつは」わたなべちなつ/作 福音館書店 2014 年

絵本を90度に開くと、あれあれ、不思議! 卵やホットケーキのシロップなどが立体的に浮かんできます。他に『ふしぎなにじ』『かがみのサーカス』があります。



「てじな」土屋富士夫/作 福音館書店 2007 年

「あんどら、いんどら、うんどら」と手品師が呪文をとなえれば、卵が大きな花に! 穴あきのしかけ絵本で、次はどうなるのかな? とワクワクします。手品師になったつもりで読んでみましょう。



### 「でんしゃでいこうでんしゃでかえろう」 間瀬なおたか/作 ひさかたチャイルド 2002 年

山から海へ、いくつものトンネルをぬけて、電車が走ります。電車の音、景色の変化など、見どころはもりだくさん。 前から読んでも、後ろから読んでも楽しめます。



### 「やさいさん」 tupera tupera/作 学研教育出版 2010 年

男の人が、かごを持って野菜畑にやってきました。ちょっとだけ見えているこの野菜は? 「すっぽーん!」とページをめくれば、ニンジンさんがこんにちは。あてっこをして楽しめる絵本です。他に『くだものさん』もあります。

## もっと絵本がよみたいな



### 「ちいさいおうち」バージニア・リー・バートン/作 いしいももこ/訳 岩波書店 2019 年

静かな田舎から、次第にビルができ、にぎやかな都会へ。 時の流れとともに環境が変化していく小さな家の周りを、 美しい文章と絵で描く。長く読み継がれている絵本。



### 「なつみはなんにでもなれる」ョシタケシンスケ/作 PHP 研究所 2016 年

なつみは「なんのものまねをしているか、あてるゲーム」を 思いつきます。何かのまねをするなつみと、それを当てよう とするおかあさんとのやりとりが楽しい絵本。



### 「ノラネコぐんだんパンこうじょう」工藤ノリコ/作 白泉社 2012 年

ちょいワルのノラネコぐんだんは、ワンワンちゃんのパン工場にしのびこんでパン作り。ところが、パン焼き窯がドッカーンと爆発し・・・。「ノラネコぐんだんシリーズ」第1作。

## 図書館の行事



身近なふしぎをみつけよう! やさしいかがく絵本の読み聞かせと 工作・実験をおこないます。 毎月第1土曜日10:30~ 対象は3歳から小学校低学年 会場は中央図書館『おはなしの森』 です。







日本語と英語で、いろいろなおもしろい絵本を 読んでくれます!

毎月第4土曜日15:00~

講師は嶋田千里さん

会場は中央図書館『おはなしの森』です。

# ぐれ ☆ おはなし会

1冊の絵本を、日本語・韓国語・英語・ フランス語などでそれぞれ読み聞かせします! 不定期開催 会場は厚狭図書館『おはなしランド』です。

## 図書館 ご利用の手引き

貸出カードはO歳から作ることが出来ます。 公的な証明書(保険証等)をお持ちください。

### ★貸出

本や雑誌は10点まで2週間 CD・DVD等は3点まで1週間、貸出しています。



### ★予約

借りたい本には、電話や図書館ホームページからも予約ができます。

### ★開館時間

中央・厚狭図書館 : 火~金 9:30~19:00

土・日 9:30~17:00

分館 : 火~金 13:30~17:00

±・日 9:30~17:00



### ★本の受け取り・返却

子育て中で、なかなか図書館までお出かけできないママやパパでも大丈夫! ご希望の本を、お近くの公民館で受け取ることができます。 読み終わったら公民館のブックポストへ♪

### ★子育て支援情報コーナー (中央図書館) すくすくコーナー (厚狭図書館)

妊娠・出産・育児・しつけ・家庭教育など、「子育て」に関する さまざまな資料をおいています。

となりには、赤ちゃん絵本のコーナーもあります

### ★「絵本だ~いすき!ブックリスト ~乳幼児(0・1・2歳)向け~!

中央図書館窓口で配布しています。 また、図書館ホームページでもご覧いただけます。



そのほか、分からないことがありましたらお気軽に図書館までどうぞ!

### 絵本だ~いすき!ブックリスト ~3・4・5歳児向け~

2020年3月発行

編·発行 山陽小野田市立中央図書館

〒756-0802

山口県山陽小野田市栄町9-13 (電話) 0836-83-2870 (FAX) 0836-83-3564

(eメール)

cyuo-library@city.sanyo-onoda.lg.jp

(URL)

http://library.city.sanyo-onoda.lg.jp/

